歯科市民アンケート集計進む

各地からの返信は3●●●人に

口腔の意義や重要性を知ってもらい、歯科医療の役割を広く社会的に宣伝、アピールすることを目的に10月8日から11月8日の一カ月間「イレバデーからイイハデー・全国キャンペーン」強化月間が取り組まれている。

各地で、この「イイハデー」から「イレバデー」の一カ月を中心に、「歯科医療に関する市民アンケート」が取り組まれ、11月●日現在、●●●●通寄せられている。

市民アンケートは各地の街頭宣伝や健康まつりなどで市民と対話の際に記入したり、来院患者さんに記入してもらう。取り組んだ歯科医からは「患者さんから率直な意見が聞かれるし、歯科医療の大切さを知ってもらういいきっかけになる」と好評だ。

これまで寄せられたアンケート結果では、歯と全身の健康にとって「とても大切だと思う」、歯科の窓口負担は「高い」の項目を選択している人が目立っている。また、自由意見欄でも、歯科医療への切実な声も多数寄せられている。アンケートは、11月末まで行われ、12月中旬に集計結果をまとめる。

アンケート自由意見欄の声

▼3割負担でも歯科治療にいくと高いので渋っています。

▼歯の治療を考えると高額で現実的には治療ができない。何の治療にしても高い。

▼上の歯がボロボロで、下は指し歯が3本、もう軟らかい物しか食せない。治療した場合、どの程度費用負担か心配。

▼後期高齢者医療制度で、医療費3割負担です。40万もかけた義歯の具合が加齢に伴って、いつ不具合になるかをひやひやしております。

▼70才以上は歯の治療を無料にしてほしい。

▼今は、1割負担ですんでいますが、来年4月以降上がったら負担が大きい。

大分市内で市民アンケート

1時間で202人

大分県保険医協会は11月7日、イイハデーの取り組みとして市内デパート前で歯科医療に関する「市民アンケート」を実施した。歯科役員ほか11人が参加し、約1時間で202人のアンケートを集約した。また、アンケートに答えてくれた人に歯ブラシを配布した。

歯科役員が交代でマイ

Women's Eye ●●●●●●51

熊本　入部 祥子（いりべしょうこ）

仕事と家庭とボランティア

熊本生まれ、1971年熊本大学医学部卒、菊池中央病院小児科非常勤医、育児支援してくれた母の認知症介護経験も活かし、民間団体「オハイエくまもと」を立上げ、年1回「とっておきの音楽祭」開催、現在小児科勤務医の夫と、17才の老犬介護中。趣味のテニス、茶道は休み中、息子2人は県外在住、孫2人

私は今仕事と家庭とボランティア活動をやっている「みんなちがってみんないい」医師の1人でしょうか。

約20年前息子の学園祭でユニセフ活動に出会い、募金活動の一つとして素敵なハガキ、カードやTシャツ、おもちゃなどのグッズの販売もずっとしています。ぜひ使って下さい。募金はすぐNYユニセフ本部へ送られますよ。

熊本ユニセフでは最貧国アフリカに注目し「アフリカのこどもの日」イベントを毎年開催。在日のアフリカと熊本の若者達が共に企画し、エイズ、紛争、文化、民族など楽しく学び、交流しています。若者達が国際的感覚を身につけて育つのも喜びですし、NYユニセフ本部のキャロルベラミー事務局長や親善大使の黒柳徹子さん、アフリカ各国大使など色々な方に来て頂き、素晴らしいお話しを直接聞くチャンス、出会いも心の財産です。

ご存知のように「みんなちがってみんないい」とは金子みすずの詩で、又年1回仙台市20カ所以上の市街地で開催される「とっておきの音楽祭」のキャッチフレーズ。この音楽祭は障がいの有無に関わらず色んな音楽を楽しみながら、音楽による心のバリアフリーをめざしています。そのドキュメンタリー映画「オハイエ！」（オハヨー、イエーッの元気が出る言葉）を見て感動し、一昨年我々は「オハイエくまもと」を立ち上げ、日常は知的発達障がいの人達にプロやボランティアが音楽を指導し、ファミリーも一緒に楽しんでいます。

元細川首相夫人が日本に広めた知的発達障がいの人のスポーツプログラムのスペシャルオリンピックスは熊本が発祥の地。私も医療ボランティアなどやった縁で、音楽版のオハイエを立上げ、その発表の場で障がいの有無に関わらず楽しむ九州初「とっておきの音楽祭」を3月に6カ所700人の参加と多くの協力で開催しました。自閉症やダウン症などの方々の秘められたる才能に驚き、元気と感動をもらい、優しさに励まされて過ごしている日々です。